

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光エリア振興室
	施策	観光客受入環境の整備		電話番号	087-839-2417
	基本事業	観光資源の活用と創出		事業実施主体	市
	事務事業	源平屋島地域観光振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	瀬戸内海国立公園有数の景勝地であり、源平合戦の史跡を有する源平屋島地域（屋島、庵治及び牟礼地区をいう。）の自然・歴史・文化・産業等の資源を生かした観光振興を図るため、源平屋島地域運営協議会が実施する源平屋島地域の活性化を推進する事業を支援します。
-------	---

30年度概要	
--------	--

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	屋島を中心に源平屋島地域を訪れる市民及び観光客等を増加させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
屋島山上シャトルバス運行便数（往路）	便		3,763	3,712		3,760
まつり・イベント開催件数（庵治・牟礼地区）	件		4	4		5

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
屋島山上入込客数	人	目標値		700,000	700,000		700,000
		実績値		506,682	498,696		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度の屋島山上入込客数は、前年度に比べ減少し、目標を達成することができなかった。 （目標達成度）						（達成度） 71.2% 24点	
源平屋島地域（庵治・牟礼に限る。）入込客数	人	目標値		103,500	103,500		103,500
		実績値		101,037	96,000		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 源平合戦の史跡を有する源平屋島地域の自然・歴史・文化・産業等の資源を生かした観光振興を図ったが、目標を達成することはできなかった。 （目標達成度）						（達成度） 92.8% 32点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	19,150	18,628	21,882	9,104
（事業費）	[円]	13,930	13,289	12,778	
（職員人件費）	[円]	5,220	5,339	9,104	9,104

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

事業の実施に当たっては、スクラップ・アンド・ビルドを行い、事業内容及び実施体制を見直していく必要がある。今後は、屋島山上への入込客を増やすことに重点を置いた取組を実施していく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

源平屋島地域運営協議会のあり方も含め、これまでの取組を見直し、入込客数目標を達成するために、有効な方策を検討し、実施する。

平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光交流課
	施策	観光客受入環境の整備	電話番号	087-839-2416	
	基本事業	観光資源の活用と創出	事業実施主体	市	
	事務事業	観光団体育成事業	事業期間	平成28年度～平成35年度	

【事業全体概要】

事業の概要	イベント主催者に成り得る観光協会等の団体育成を図り、地域の伝統芸能やイベントを振興することで、地域の活性化や産業の発展を支援する。 また、イベント等を開催することにより、本市及び周辺地域への交流人口の拡大を図る。				
	30年度概要	下記の補助対象事業を実施する団体への補助(補助対象事業) ・観光施設の改善に関すること ・観光資源の調査・研究に関すること ・観光地の選定、開発並びに紹介、宣伝等に関すること			
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	各地区観光協会等
意図(どのような状態にしたいか)	各地区における観光振興等を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
補助金交付件数	件		15	15	14	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	観光関連施設等利用者数	人	目標値		6,533,400	6,545,600	6,705,600	6,705,600
			実績値		6,894,656	6,817,568		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	8000000						(達成度)
	十分目標は達成できた。	(目標達成度)						104.2%
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	1						(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	4,640	4,688	4,496	4,335
(事業費)	[円]	2,490	2,490	2,372	2,211
(職員人件費)	[円]	2,150	2,198	2,124	2,124

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
地域のにぎわい創出について一定の成果を得た。今後は自主財源の拡充を図りながら、地域の活性化が担える団体として、さらなる育成が必要である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
今後はにぎわい創出だけでなく、より誘客に向けたものとなるよう取り組んでいく必要がある。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光交流課
	施策	観光客受入環境の整備		電話番号	087-839-2416
	基本事業	観光資源の活用と創出		事業実施主体	市
	事務事業	観光イベント振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松まつり、高松秋のまつり大名行列などの本市の代表的なまつり、及び旧合併町における地域のまつり・イベントに対し、事業補助を行い、魅力のある観光イベントの振興・活性化に努め、観光客の誘致を図る。		
	30年度概要	1. 高松まつりイベント開催補助金ほか14件 2. 海の月間事業負担金 3. その他	
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	訪れる市民・観光客
意図(どのような状態にしたいか)	高松まつりなどのイベント振興に努め、多くの市民が楽しみ、観光客が訪れるよう、地域性豊かな特色のある観光資源の創造を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
補助金交付団体数	団体		15	15	15	15

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
まつり・イベント入込み客数	人	目標値		990,000	1,000,000	1,018,000	1,018,000
		実績値		921,685	801,719		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	1200000	(目標達成度)					(達成度) 80.2%
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
			目標値				
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	158,945	145,807	115,587	111,525
(事業費)	[円]	135,914	122,254	92,826	88,764
(職員人件費)	[円]	23,031	23,553	22,761	22,761

【評価】

評価ランク(A~D)	B	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
イベントによるにぎわい創出について、一定の成果を得た。今後は自主財源の拡充を図りながら、さらなるにぎわい創出に向けた創意工夫が求められる。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
今後はにぎわい創出だけでなく、より誘客に向けたものとなるよう取り組んでいく必要がある。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光交流課
	施策	観光客受入環境の整備		電話番号	087-839-2416
	基本事業	観光資源の活用と創出		事業実施主体	市
	事務事業	観光ボランティアガイド育成事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市を訪れる観光客に、高松の歴史・文化・自然及び物産等の豊かな魅力を紹介する観光ボランティアガイドを育成し、本市の観光振興に資するもの				
	30年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客に対する観光ガイド</li> <li>新人研修会</li> <li>既会員へのガイドスキル向上のための研修会</li> </ul>			
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	サンポート高松・玉藻公園・屋島地域を訪問した観光客・市民等
意図（どのような状態にしたいか）	高松を訪れた観光客に対して観光ガイドが出来る人材を育成することで、受入態勢の充実を図る。また、来高満足度を高め、リピーター又は来高意識の拡大を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
被ガイド（観光客）数	人			11,481	13,800	13,800

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	観光関連施設等利用者数	人	目標値			6,545,600	6,705,600	6,705,600
			実績値			6,817,568		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	十分に目標を達成できた。							104.2%
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,710	7,871	7,598	7,561
（事業費）	[円]	570	570	542	505
（職員人件費）	[円]	7,140	7,301	7,056	7,056

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>改善継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-------------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は目標に近いガイド件数を達成した。今後も研修等を通じて、さらなるガイドスキルの向上を図るとともに、若年層ガイドの育成やインバウンドの対応などが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

若年層ガイドの育成として、大学と連携することなどの取り組みを行いながら、通訳案内士制度の改正に伴い、有償ガイドに制約がなくなることから、本市における観光ガイドの在り方を検討する必要がある。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光交流課
	施策	観光客受入環境の整備		電話番号	087-839-2416
	基本事業	観光資源の活用と創出		事業実施主体	市
	事務事業	観光連携プラットフォーム推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	観光に関連する事業者・団体等が行っている観光振興の取組を情報共有し、連携や協働を行うため「高松観光まちづくりネットワーク推進委員会」と連携して、研修事業や観光課題解決に向けた事業を行う。
-------	---

概要	30年度 観光連携プラットフォーム会議開催経費 観光人材育成研修会委託料
----	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	本市における交流人口の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
観光連携プラットフォーム会議の開催回数	回		5	2	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	香川県の延べ宿泊者数	万人	目標値		400	450	450	450
	実績値			389	346			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度は、昨年度より宿泊者数が減少する結果となり、目標を達成できなかった。 (目標達成度)							(達成度) 76.9%
								26点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	682	2,013	3,388	3,318
（事業費）	[円]	682	443	353	283
（職員人件費）	[円]	0	1,570	3,035	3,035

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

官民が協働で観光振興に取り組むための統一の考動指針である観光キャッチコピーを普及させるためにロゴマークを策定したが、キャッチコピーの趣旨や目的を市内の観光関連事業者に共有し、協働を促していく手法については課題となっている。
---

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

昨年度、策定した観光キャッチコピーのロゴマークを活用するなど、観光キャッチコピーの普及を推進するとともに、観光課題の解決のための検討を委員会の中で引き続き実施していく。
--

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光交流課
	施策	観光客受入環境の整備		電話番号	087-839-2416
	基本事業	観光資源の活用と創出		事業実施主体	市
	事務事業	高松城跡（玉藻公園）を活かした観光振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松城跡（玉藻公園）の観光拠点としての知名度アップと観光客の増加を図るため、和船体験事業やバーチャル高松城事業、「高松城鉄砲隊」による演武などを行うとともに、重要文化財の指定を受けた披雲閣や庭園のライトアップを始め、ナイト観光を充実させるイベントを行います。					
	30年度概要	夜間ライトアップ事業 ナイト観光イベント事業 高松城鉄砲隊演舞事業 バーチャル高松城維持管理事業 高松城跡和船体験事業	重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	高松城跡（玉藻公園）を訪れる市民及び県外からの観光客等を増加させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
高松城跡（玉藻公園）イベント開催日数	日		69	55	145	145

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	高松城跡（玉藻公園）入園者数	人	目標値		209,000	209,000	209,000	209,000
			実績値		237,946	228,385		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、20万人を大きく超え、目標を達成した。 (目標達成度)							(達成度) 109.3% 35点
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	75,143	19,702	16,722	14,480
（事業費）	[円]	74,375	17,347	12,170	9,928
（職員人件費）	[円]	768	2,355	4,552	4,552

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>改善継続</b>
------------	----------	--------------------------	-------------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

既存事業（和船、鉄砲隊、バーチャル高松城）の広報等に継続的に取り組むと共に、宿泊旅行者を対象にした事業としてナイト観光を実施しているが、今後は、より多くの宿泊旅行者に、本事業を知ってもらえるよう、効果的なプロモーションを展開する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

既存事業の広報を積極的に行いながら、「高松ならでは」「玉藻公園ならでは」の事業を行い、玉藻公園に行ってみたいと思われる「玉藻公園ブランド」の構築を目指し、国内外からの観光客誘致につなげる。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光エリア振興室
	施策	観光客受入環境の整備		電話番号	087-839-2417
	基本事業	観光資源の活用と創出		事業実施主体	市
	事務事業	屋島活性化推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	屋島活性化に向け、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ、市民を始め、広く屋島を訪れる人々に知ってもらうため、平成25年1月に策定した「屋島活性化基本構想」に基づき、具体的施策・事業を迅速かつ効果的に実施し、世界に誇れる本市のシンボルとなる屋島として再生を目指す。				
30年度概要	屋島地域施設等整備事業 屋島活性化推進事業 屋島地域誘客促進事業				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	屋島及び周辺地域
意図（どのような状態にしたいか）	「屋島活性化基本構想」に掲げた具体的施策・事業を、計画的かつ効果的に実施し、屋島を世界に誇れる高松市のシンボルとして再生する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
「屋島活性化基本構想」に掲げる事業のうち実施した事業数	事業		32	35	40	40
事業費ベースの進捗率	%		100	100	100	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
屋島山上入込客数	人	目標値		700,000	700,000	700,000	700,000
		実績値		506,682	498,696		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 71.2%
	屋島山上入込客数は、昨年度より若干減少し、目標値には達していない。 (目標達成度)						24点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	21,677	61,761	1,041,067	583,294
（事業費）	[円]	16,303	44,489	998,580	546,876
（職員人件費）	[円]	5,374	17,272	42,487	36,418

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

屋島山上入込客数は若干減少し、目標には届かなかった。現在着手している山上駐車場整備等の事業について、早期に完了させる必要がある。また、屋島山上拠点施設に関しては、施設本体と排水設備の実施設計に取組み、排水設備の実施設計を完成させた。施設本体の実施設計は当初予定より遅れていることから、平成31年度中の完成に向けてスケジュールの再調整を行っていく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

国の補助金制度を活用し、山上拠点施設整備等の整備を平成31年度を目途に実施し、観光客入込客数の増加を目指す。また、新たに、登山道や便利施設等のハード整備も行う。また、屋島の自然や文化、イベント等の情報や魅力を多くの人へ発信できる環境を整える。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価 担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興		課(室)名	観光エリア振興室
	施策	観光客受入環境の整備		電話番号	087-839-2417
	基本事業	観光資源の活用と創出		事業実施主体	市
	事務事業	温泉を生かした塩江地域の観光振興事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に的確に対応し、地域の持つ魅力を向上させて塩江地域の活性化を図るため、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、温泉をいかした塩江地域の観光振興に努めます。				
	30年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づいたソフト事業の展開</li> <li>道の駅エリア再整備の施設基本設計者選定等</li> <li>奥の湯エリアの活用検討調査</li> <li>行基の湯改修工事</li> </ul>			
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	塩江温泉郷への観光客
意図（どのような状態にしたいか）	良質な温泉資源や周辺の自然環境を生かして塩江温泉郷の魅力を向上し、観光客の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
関係者会議開催回数	回		3	0		
塩江地域イベント開催日数	日		0	5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	塩江温泉郷観光入込客数	人	目標値	65,000	70,000	70,000	72,000	72,000
			実績値	65,000	69,000	70,000		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 民間宿泊施設の1施設が閉鎖したものの、引き続きアジア圏からの観光客数が好調であったことなどから、塩江温泉郷観光入込客数は目標を達成できた。						(達成度) 100.0%	
							35点	
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	4,000	4,564	7,079	91,838
（事業費）	[円]	4,000	2,994	5,562	90,321
（職員人件費）	[円]		1,570	1,517	1,517

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

関係者の意見等をもとに平成 29年 3月に策定した、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づく取組を検討するとともに、実行組織となる塩江温泉観光協会をはじめとした関係団体の体制強化や、行政との協力体制の再構築が重要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域の関係団体・事業者と協働し、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づく、効果の高い事業を行うとともに、温浴施設（行基の湯改修）、道の駅といった、地域の集客の核となる施設再整備及び奥の湯エリアの活用検討を進める。